

## 企業情報

### 株式会社 Laboro.AI (ラボロエーアイ)

設立 2016年4月1日

代表者 代表取締役 CEO 椎橋 徹夫  
代表取締役 CTO 藤原 弘将

事業 オーダーメイド型 AI ソリューション開発  
AI 導入支援コンサルティング

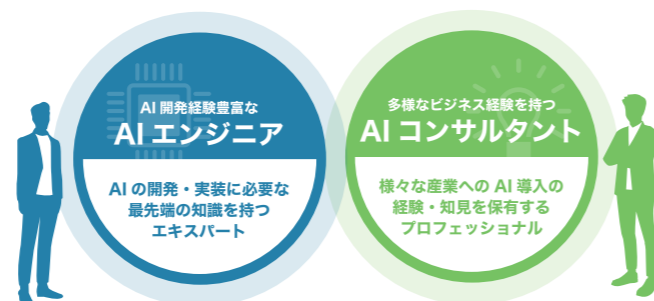
資本金 5億3,500万円

従業員数 50名 (2023年3月時点)



## 経験豊富なコンサルタント&エンジニアチーム

様々な業界への AI 導入の経験と知見を保有するコンサルタント、そして AI 開発や実装に必要な最先端の知識と技術を持つエンジニアが、チームとして御社の AI 導入をサポートいたします。



## 広い活用データ範囲

画像・動画、自然言語、音声、時系列データなど、各種データをベースとした AI 開発に対応しています。Laboro.AI のエンジニア陣は、これら広い領域をカバーするエキスパートが揃っています。



## あらゆる業界での導入実績

製造、金融、建設、小売、ヘルスケアのほか、Laboro.AI では業界を問わず多くのリーディングカンパニーに AI 導入を行っています。機械学習の知識と技術をベースに、それぞれの環境や課題に適した AI 開発・導入を支援いたします。



## オーダーメイド AI 開発

# カスタム AI

CUSTOM AI

御社の課題やデータに合わせた AI ソリューションをオーダーメイドで開発

## カスタム AI 3つの特徴

### ① AI の企画・設計から開発までワンストップで提供

専門のコンサルタントが御社の課題や現場での活用イメージを整理し、AI の企画・設計からサポートいたします。御社ならではの AI に仕上げていくために、開発中も議論を継続的に実施させていただきます。

### ② AI の開発は内製で実施

機械学習の専門スキルを保有する当社エンジニアが、AI モデルを開発いたします。システム連携用の API や簡易 DB など、実用化のための仕組み作りもお手伝いいたします。

### ③ 最新の論文や研究成果を柔軟に活用

開発にあたっては、自社開発の技術モジュールを活用するほか、最新の公開学術論文やオープンソースのソフトウェアなども活用。短期間での課題解決が図れるよう、柔軟に開発を行います。

# あらゆる業界・企業との AI プロジェクト実績

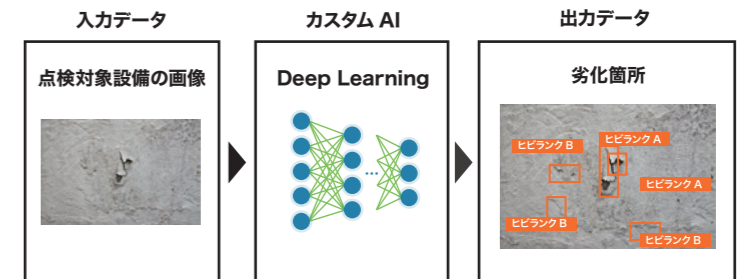


## インフラ画像からの劣化箇所検出

### 画像

大手インフラ企業 様

同社が管理する多数の設備では、設備の画像から劣化箇所を特定し、補修有無を判断するという作業を人手でこなしており、多くの工数を割いていました。Laboro.AIでは、ディープラーニングを用い、画像内の劣化箇所の検出と劣化内容の識別を行う仕組みを開発しました。これにより、一定の精度で劣化箇所の位置を矩形で検出することが可能になり、人が確認する内容が減ったことで作業の効率化を実現しました。



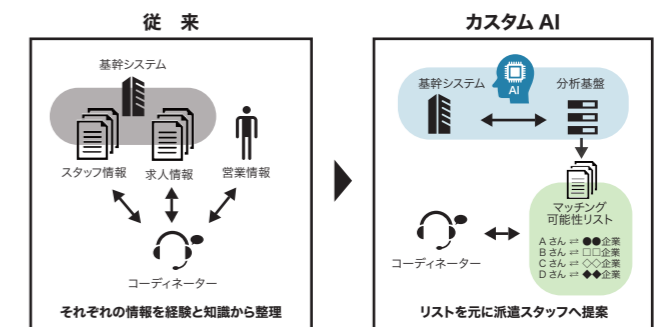
※画像はイメージであり、実際のプロジェクト画像ではありません。

## 人と職の最適なマッチング

### 自然言語

パーソルテクノロジースタッフ 株式会社 様

同社では、派遣先企業と派遣スタッフのマッチングをキャリアアドバイザーが人手で対応する機会が多く、そのスキル習得には数年の経験が必要のため、作業の属人化が紹介数・成約数向上のボトルネックになっていました。また、過去のマッチングデータは蓄積していたものの、従来のITでは文章データやルール化できない曖昧な判断が多く、対応が困難でした。Laboro.AIは、この課題を自然言語処理とカテゴリデータを活用した機械学習により、マッチ候補者を効率的にリスト化することを実現しました。

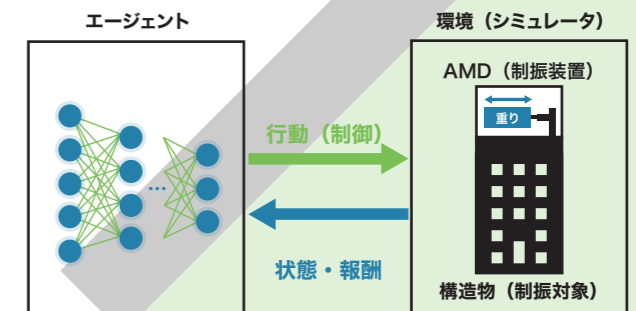


## 建物の制振制御

### 強化学習

株式会社 大林組 様

建物の振動対策を目的とした技術の一つであるAMD(アクティブ・マス・ダンパー)は、建物に設置した「重り」を能動的に動かすことで、建物の揺れを抑制する装置です。一般的にAMDは制御工学に基づく制御則によって制御されます。Laboro.AIでは、クライアント企業と協同で強化学習による制御則の獲得と、より効果的な制振制御の実現に向けた研究開発に取り組んでいます。



## カスタム AI の開発～現場導入までの流れ

(※標準的な工程を掲載しています。オーダーメイドという特性上、実際の開発フローはお客様ごとに異なります。)

	企画・要件定義	開発・PoC	導入・実装	再学習・チューニング
当 社	・業務プロセスや課題ヒアリング ・AI ソリューションの設計 & 提案 ・AI 技術のアドバイザー	・アルゴリズムの選定、環境構築 ・AI モデルの学習 ・ビジネス観点からの精度検証	・システム要件定義 ・API 仕様の策定 & 実装 ・本番環境での試験 & 検証	・運用状況の確認 & 検証 ・再学習の実施 ・再学習前後の精度比較
お 客 様	・AI 活用余地の検討 & 特定 ・保有データの整理 & 準備	・必要データや開発環境の提供 ・実務観点からの精度検証 ・実運用に向けた検討	・システム要件の洗い出し ・本番環境での動作確認	・再学習用データの整理 & 準備 ・比較結果の確認
期 間	1～2カ月 程度	2カ月～	3～6カ月 程度	—
成 果 物	報告書 等	報告書 等	学習モデル・ソースコード 等	再学習モデル 等